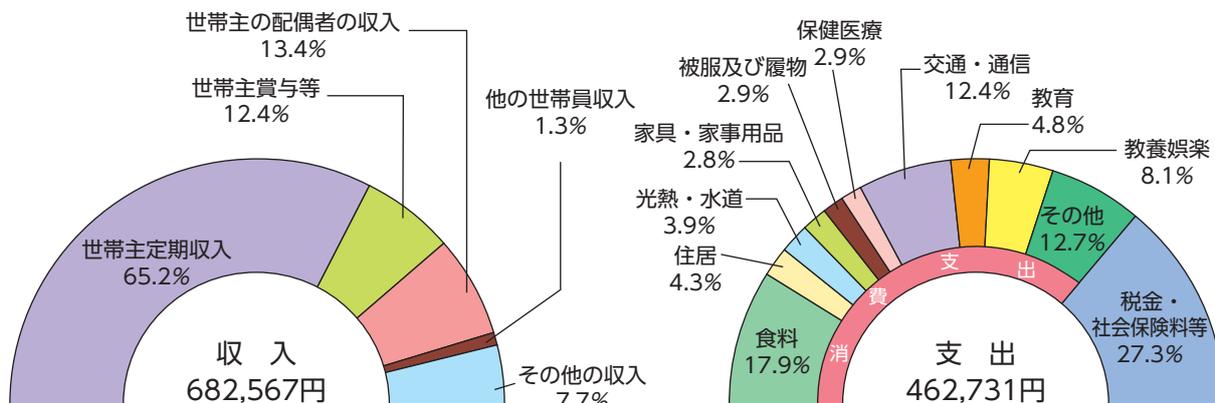


# 10 暮らし

## ① 1世帯当たり1か月間の収入と支出(さいたま市・勤労者世帯)(2020年平均)

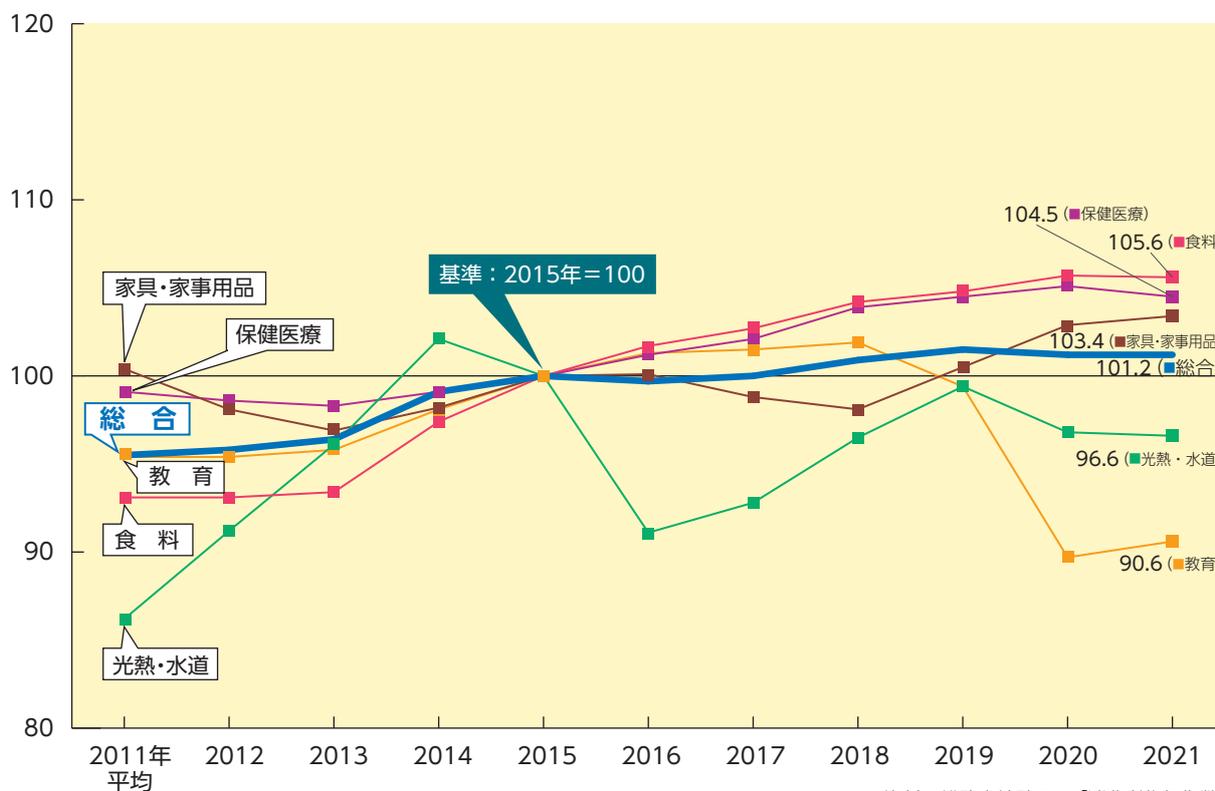


注) 収入とは、一般に言われる税込み収入のことで、世帯員全員  
の現金収入の合計である。支出とは、消費支出(生活費)  
と税金や社会保険料等の合計である。

資料：総務省統計局HP「家計調査年報」

④ 1世帯当たりの1か月間の支出は462,731円、そのうち食料費は82,630円で、エンゲル係数(消費支出336,541円に占める食料費の割合)は24.6%でした。なお、全国の数値は、25.5%です。

## ② 消費者物価指数(さいたま市・2015年=100)



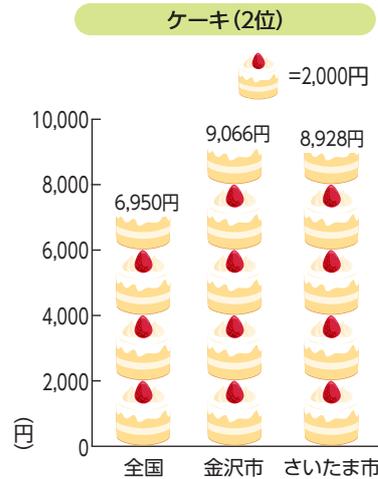
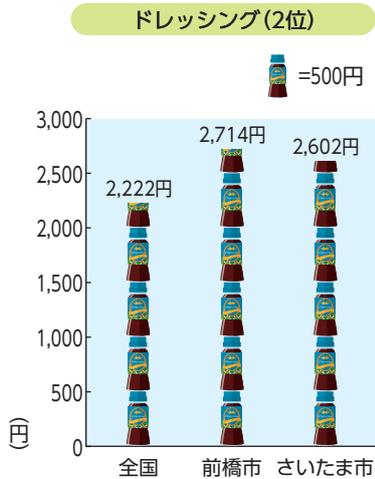
資料：総務省統計局HP「消費者物価指数」

### 「消費者物価指数」ってなあに？



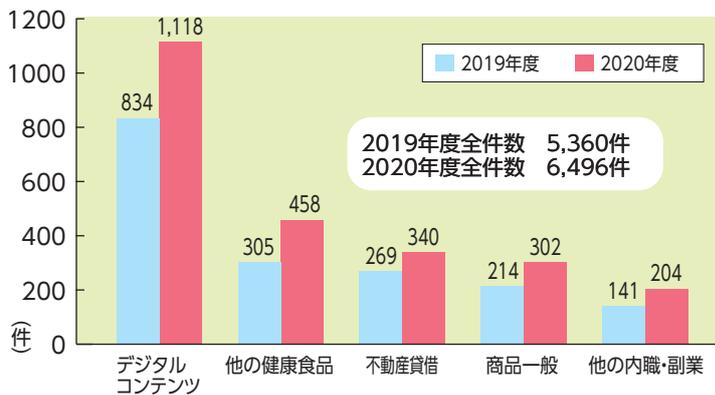
消費者物価指数は、私たち消費者が購入するたくさんの商品の価格の変化を総合し、平均的な物価の動きをみるための指標です。基準となる時点の物価を100とし、そこから物価がどの程度上昇又は下落したかを表しています。

### ③ 購入金額が全国で上位の食料品(さいたま市)



注1 1世帯当たりの年間購入金額(2018年~2020年平均)を都道府県庁所在市別に集計したものである。  
 注2 総務省が公表した「家計調査(二人以上の世帯) 品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング(2018年(平成30年)~2020年(令和2年)平均)」の中に、さいたま市が1位の品目はなかった。  
 資料: 総務省統計局HP「家計調査」

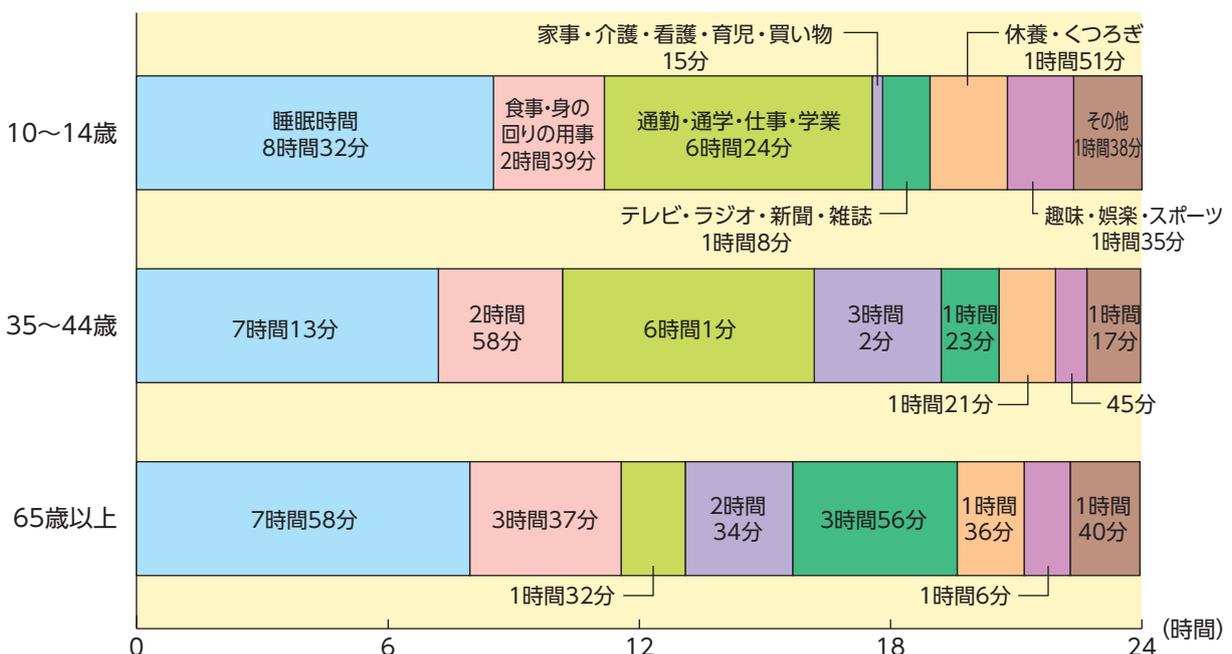
### ④ 若者の消費生活相談の相談件数(上位5項目)(2019年度・2020年度)



若者の場合、インターネットを通じて得られる情報サービスである「デジタルコンテンツ」に関する相談が全件数の17.2%と多くを占めているほか、「他の健康食品」と「他の内職・副業」の件数が増加しています。

注) 契約当事者が29歳以下の集計。  
 資料: 県消費生活支援センターHP「埼玉県消費生活相談年報」

### ⑤ 1日の生活時間(2016年10月)



注) 10歳以上の人の1週間の平均値。  
 資料: 総務省統計局「社会生活基本調査」